

● 特別展

生誕100年 滝平二郎展 ~ものがたりを描いた画家

2021.9.11(土) - 11.14(日)

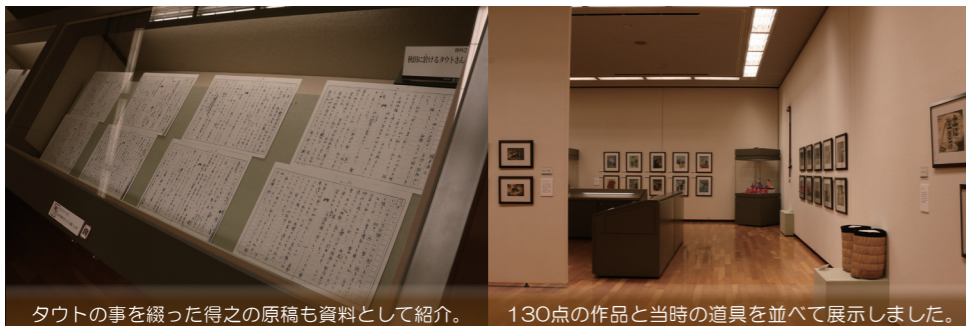
本展は画家・滝平二郎(1921-2009)の大回顧展。造形の根本にあり続けた木版画、作家・斎藤隆介と手がけた『モチモチの木』などの絵本原画、広く愛されたきりえカットの3ジャンルを時系列に展示して造形の変化をたどるとともに、絵本世界を体感できるフォトスポットも加えて構成しました。

滝平の作品には、人間をじっと観察するような彼の気配を感じます。何かが起こったそのとき、人は何を感じ、どう動くのか。人間の視線や仕草の描写には、滝平の洞察力が発揮されています。造形的な魅力もさることながら、「人間」がリアルに描き出されているからこそ、滝平の作品は世代を超えた鑑賞者の共感を呼び、心をつかむのかもしれない。作品をたどりながら、滝平自身の人間像に思いをはせた方も多かったのではないのでしょうか。(担当:鈴木京・木村)



絵本と原画を併せて楽しむお客様の姿も。

「モチモチの木」の原画もほぼ全場面を展示!



タウトの事を綴った得之の原稿も資料として紹介。

130点の作品と当時の道具を並べて展示しました。

● 特別展

没後50年 勝平得之

2021.11.20(土) - 2022.2.6(日)

令和2年に没後50年を迎えた秋田市出身の創作木版画家・勝平得之の回顧展を開催しました。展示品は当館所蔵の勝平作品をほぼ網羅する版画130点です。あわせてドイツの世界的建築家・ブルーノ・タウトを連れて県内を案内した時の得之の日記(コピー資料)なども展示しました。小説『椽ノ木の話』の挿絵原画57枚組や、写真資料類は大型モニターに映して紹介しました。

また今回は、『自在鉤(じざいかぎ)』『踏み俵』といった、得之の作品に描かれている当時の道具を県立博物館から25点お借りし、作品と並べて紹介しました。ギャラリートークは会期中に2回行い、得之が版画家の道を志すに至った経緯、描かれているものや場所などにふれながら、得之の確かな技術と、彼の描いたふるさと秋田の魅力をみんなで味わいました。(担当:藤井・鈴木秀)

生誕100年 滝平二郎展 ~ものがたりを描いた画家

没後50年 勝平得之展

Topics

令和3年度 セカンドスクールの利用のご紹介です。

鑑賞の際、感染予防にご協力いただきありがとうございました。

のべ83団体、2,670人(2月28日現在)



コレクション展2期「美のしくみ」鑑賞の様子

- 大館市 矢立小学校 扇田小学校 扇田保育園 東館保育園 城南保育園 比内中学校
- 三種町 金岡小学校 浜口小学校 湖北小学校
- 男鹿市 脇本第一小学校
- 秋田市 下浜小学校
- 大仙市 花館小学校
- 内小友小学校 大川西根小学校 角間川小学校 神岡小学校 清水小学校 太田東小学校 太田南小学校 太田北小学校 横堀小学校 平和中学校 南外中学校
- 仙北市 角館小学校
- 仙北郡 六郷小学校 仙南小学校
- 横手市 朝倉小学校
- 旭小学校 浅舞小学校 吉田小学校 雄物川小学校 大森小学校 十文字小学校 山内小学校 大雄小学校 横手南中学校
- 湯沢市 湯沢東小学校 湯沢西小学校 三梨小学校 川連小学校 雄勝小学校 稲川中学校
- 雄勝郡 高瀬小学校
- 東成瀬小学校 羽後中学校
- 特別支援学校 栗田支援学校 ゆり支援学校 横手支援学校 稲川支援学校
- 高等学校 秋田令和高校 新屋高等学校 横手高校 横手清陵高校 湯沢高校
- その他 フレッシュひろば 北上南中学校(北上市) 唐桑中学校(気仙沼市)

Information

2022年度・上半期の事業(予定)

- 特別展
- 日本画家 堀文子 一百年の旅ー 4/23 ~ 7/10
 - サントリー美術館名品展 一休竹本・三十六歌仙絵から円山応挙、エミール・ガレまで 7/16 ~ 9/11
 - 秋田蘭画の世界 -『解体新書』から《不忍池図》へー 9/17 ~ 11/13
- コレクション展
- 第1期 描かれた気象 4/13 ~ 7/3
 - 第2期 夏を見る 7/6 ~ 10/2
- 館外展示
- 出前美術展(会場:能代エナジウムパーク) 8/17 ~ 8/28
- ふれんどリーギャラリー展示
- 齋藤國男作品展(仮) 5月頃を予定
 - 草薙裕写真展(仮) 6月頃を予定
- 美術館教室(中学生以上一般)
- 「工芸教室(漆芸)」(各1日) 5/14、15
講師:齋藤國男さん(漆芸家)
 - 「写真教室」(各1日) 6/25、26
講師:草薙裕さん(秋田公立美術大学大学院助手)
- みんなの教室(小学生以上一般)※低学年児童の参加は要保護者同伴
- 木の工作「つくろう!ぶんぼうアニマルズ2」 7/24
- きっずあーと(未就学児:4~6歳)
- びじゅつかんであそぼう「おさかなすいそくかん」 8/7
 - びじゅつかんであそぼう「ねんどランドであそぼう」 9/4
- 特任館長講座
- 江戸時代の美術と文化I「豪放から瀟洒(しょうしゃ)へ」 5/8より開催予定

※ 新型コロナウイルスの感染拡大により、延期・中止となる場合がございます。

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46(秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858
E-mail: akitamma@mac.ne.jp

交通 お車で●秋田自動車道・横手インターより3分
バスで●横手バスターミナル(JR横手駅東口) ~ふるさと村15分

開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで)
休館日 12/29~2023.1/2、2023.1/17~26

ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索!
twitter、facebookも開設しています!

●発行編集・秋田県立近代美術館
●2022年3月31日発行

No.83

ARK

秋田県立近代美術館ニュース・アーク 第83号

2021.10 - 2022.3

心にのこる、場面ともものがたり。



物語のクライマックスで光るモチモチの木を巨大パネルに。記念撮影スポットとして大好評でした。「生誕100年 滝平二郎展」より滝平二郎『モチモチの木』巨大パネル

Akita Museum of Modern Art

(切りとり)



秋田を題材にした絵本『八郎』の原画も。制作のエピソードに興味津々です。

得之の作品以外にも、挿絵や摺りの手順を解説した資料なども展示しました。

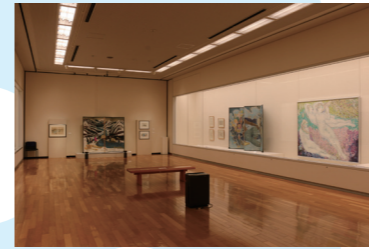
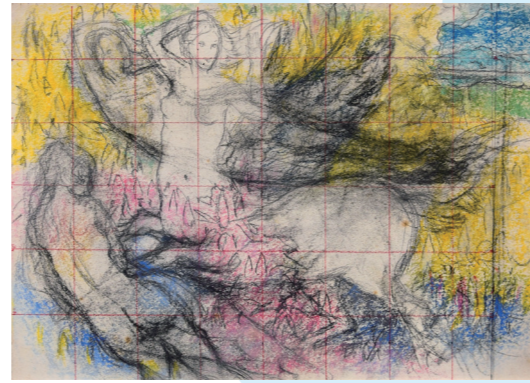


(切りとり)



コレクション展Ⅲ エスキース ～スケッチの魅力～

2021.10.14(水)～2022.1.11(火)



▲第一展示室の様子

◀横山津恵《「五月の花」エスキース》
制作年不詳

展示会に出品する作品や大作を描く場合、作家は事前に同じモチーフや構図で下絵(エスキース)を作る場合があります。下絵を作ることで本番制作の前に構図の不備・モチーフの過不足・配色の検討など、画面全体のバランスを見て推敲・調整するのです。本展はこれら下絵・スケッチ類と実際の作品と併せてご紹介することで、作家の創作の過程を覗いてみようという試みです。完成作品にはなかった要素が描かれていたり、画面中の距離感が修正されていたりと、思いがけない発見があり、過去に何度も展示されている作品にも、作家の視点から見ると新たな発見があったとご好評をいただきました。(担当:木村)



出前美術館

アート Artが大館市にやってきた

2021.11.3(水・祝)～11.7(日)

美術館から遠隔地にある場所へ出向き、所蔵品を鑑賞していただく「出前美術館」。今年度は大館市扇田小学校を会場に、計25点(レプリカ1点含む)を「出前」して開催しました。期間中は扇田小学校児童によるガイドを実施し、子どもたちの一生懸命な姿がたいへん好評を得ました。三浦明範《斜線の風景》「本物みたいだ!」「光が当たってる感じがよく分かる」「大館市出身の人に、こんなすごい画家がいるんだね」福田豊四郎《氷原》「犬が吠えている。顔が怖い感じ。後ろに倒れている犬が見えるよ」たくさんの発見をお客様に伝えてくれました(担当:小林・保泉)



▲三浦明範《斜線の風景》1984(昭和59)年

◀ガイドをがんばる扇田小児童たち



コレクション展Ⅳ

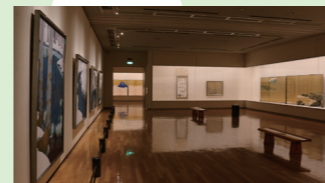
春を迎える日本画

2022.1.22(土)～4.10(日)



▲福田豊四郎《春寒(人物)》
1933(昭和8)年

第二展示室の様子▶



企画展

近美彫刻セレクション 一塊の生命力

2022.2.12(土)～4.17(日)

当館が収蔵している約200点の彫刻作品から安藤泉、高田博厚、舟越保武、皆川嘉博、峯田敏郎、柳原義達など近現代の作家の作品をセレクトした企画展「近美彫刻セレクション 一塊の生命力」を開催しました。

「塊」の芸術である彫刻は、作家の思想や生き方、技術や素材、モチーフから受けた印象などの様々な要素が複雑に絡み合い、作品として生み出されます。ブロンズや石膏といった多彩な素材の魅力で表現され、作家の思いが込められた立体の生命力と美しさを、色々な角度からご鑑賞いただけるよう、作品を展示しました。(担当:鈴木秀・鈴木京)



▲安藤泉《楕円生活》1975(昭和50)年

◀第二展示室の様子



山田朗子ピアノコンサート～滝平二郎に思いを馳せて～

2021.10.17(日)



「生誕 100 年 滝平二郎展」関連イベントとして、コンサートを開催しました。ピアニスト・山田朗子（あきこ）さんをお迎えし、滝平二郎をイメージした選曲で演奏していただきました。ポピュラーな童謡からクラシックまで、山田さんのおしゃれな編曲による演奏に、会場の皆さんはうっとりとして聞いていらっしゃいました。コロナウイルスの感染拡大以降、久しぶりのミュージアムコンサートは、展示とあわせて心華やぐひとときになったのではと思います。素敵な時間を作ってくださいました山田さん、コンサートに足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。（担当：羽川）



みんなの教室「楽しいな！版画でカレンダー」

2021.12.5(日)



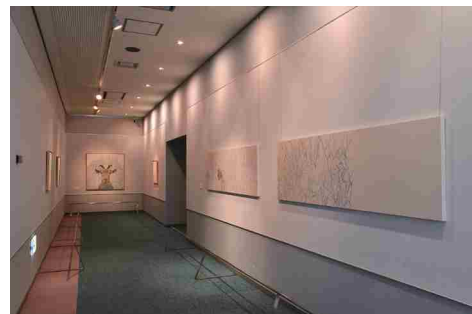
みんなの教室「楽しいな！版画でカレンダー」を開催しました。銅版画、木版画、紙版画、ドライポイントなどなど、版画にも色々ありますが、本教室で扱うのはスチレン版画です。食品トレーにも使われているスチレン板は加工がしやすく、彫刻刀などの刃物を使わずに図柄を彫ることのできる、安全で扱いやすい素材です。今回は、最初に輪郭線を彫って刷り、次に彫りを増やして別の色を重ねて刷り、最後さらに彫り込んで新たな色を重ねるといった「彫り進み」の版画に挑戦しました。前の色が完全に乾かないうちに別の色を重ねるため、刷り上がるまでどのような仕上がりになるか想像がつかないという楽しさがあります。2時間弱の教室でしたが、それぞれのセンスが生かされた素敵なカレンダーができあがりました。（担当：藤井・鈴木秀）

大関智子作品展 #garden

2021.9.26(日)～10.17(日)

日本画教室「果物を描く」

2021.10.2(土)、3(日)



日本画教室「果物を描く」は、秋田公立美術大学助教の大関智子先生をお迎えして全2日間の日程で開催しました。今年は日本画の材料に特に注目しました。古来から使われている「岩絵の具」のもととなる岩石や、いろいろな膠コレクションを用意していただき、詳しく、楽しい説明とともに見せていただきました。中には魚の浮き袋から作る膠もあり、皆さん興味深く見ていらっしゃいました。和紙（麻紙）を生かした素敵な作品が完成しました。（担当：小林・羽川）

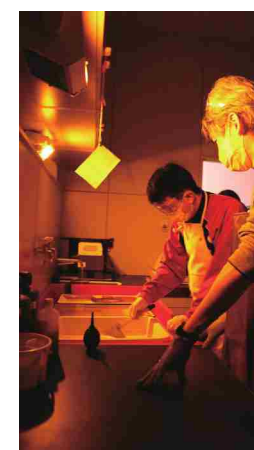
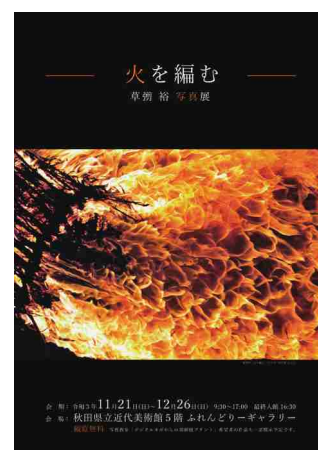


草薙裕写真展 「火を編む」

2021.11.21(日)～12.26(日)

写真教室「デジタルネガによる鶏卵紙プリント」

2021.12.11(土)、12(日)



秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科助手の草薙裕さんを講師にお迎えし、写真教室を開催しました。鶏卵紙とは19世紀に一般的に使われていた、卵白を主な感光剤とした印画紙のことです。今回はこの鶏卵紙を再現し、美術館内の彫刻を撮影したデジタルネガから、セピア調の独特な風合いをもつ写真作品を制作してみました。写真の歴史と鶏卵紙の講義から始まり、印画紙作りから撮影、ネガの加工、プリントと写真制作の基本を一通り体験してみました。スポットライトや現像液などの本格的な器具も使って、参加者同士が協力し写真を完成させることができ、とても良い経験になりました。完成した作品は、ふれんどりーギャラリーで開催中の草薙さんの写真展に並べて展示しました。（担当：木村・羽川）